

事務事業名	けん引式車椅子補助装置購入助成事業				担当	健康福祉部 社会福祉課 障害者福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	障がい者の自立と社会参加の支援				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	真岡市けん引式車椅子補助装置助成事業要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 28 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉秘書費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	障がい児・者が、災害時における避難等を安全かつ迅速にするためのけん引式車いす補助装置を購入した費用の一部を助成する。購入費用の2分の1で上限15,000円。支給回数は1回のみ。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 事前申請→調査等→助成決定→補助装置の購入・代金の支払い→領収証・請求→助成金の支払い 31年度計画 前年度と同様				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 申請者数 人 - 2 0 1 1 イ ウ エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 身体障害者手帳の交付を受けている者の内、1級・2級に該当する下肢又は体幹が不自由で、在宅において車いすを必要とする者及びこれに準ずる者				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 身体障害者（肢体不自由1・2級）所持者 人 - 524 498 472 481 イ ウ エ オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 災害等の避難の際に安全かつ迅速に移動すること可能にする。				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 助成者数 人 - 2 0 1 1 イ ウ エ オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 障害児・者の災害時の安全を確保する。				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(見込) ア 助成により災害時の安全が確保された申請者の割合 % - 100 - 100 100 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	30	0	150	75	
			事業費計（A）	千円	0	30	0	150	75	
	人件費		正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	0	4	2	2	2	
			人件費計（B）	千円	0	17	8	8	8	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	47	8	158	83	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		平成25年度の知的障がい育成会・肢体不自由児者父母の会と市長との話し合い事業において、購入助成の要望があり、対応すると回答した。その後、助成対象や助成方法について検討し、平成28年度に助成要綱を策定し、10月から開始した。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										